

一学校だより

2023年 5月22日 第7号
(令和5年) (MAY:皐月)

みはらっ子

☆「あいうえお」の学校をめざして。『う』…うつくしい学校(心もことばも)
三原小学校(46-2628) 文責 嵐

5月12日(金)、5年生と6年生は、救命救急法を体験しました。



水泳シーズンを目前にして、5月12日に、5年生と6年生が救命救急法講習を体験しました。2年ぶりに幡西消防三原分署の方々に来校していただき、講習会を実施することができました。例年であれば、保護者のみなさんにも参加していただくところでしたが、今回は、職員と児童だけの参加で行いました。「いざという時のために…」を考慮しつつ、心臓マッサージの仕方とAEDの取り扱い方を確認しました。学校での救急法講習会につきましては、今後も実施していきたいと思っています。

5月16日(火)、4、5、6年生がプール掃除をしてくれました。今年も、気持ちよく水泳ができます。4～6年生のみなさん、お疲れさまでした。そして、ありがとう。



4年生以上が、小プール、男女更衣室、男女トイレ、通路等を担当ごとに分かれてお互いに協力しながら一生懸命掃除をしてくれました。さらに、一人ひとりが最後までよく動いてくれました。上級生になったら責任をもってプール掃除をする。三原小の良き伝統の一つです。下級生は引き継いでいきましょう。

5月18日(木)、1年生が「chromebook」を使いはじめました。



18日の5時間目に、1・2年生で chromebook (タブレット) の練習をしました、1年生は初めてだったので、慣れている2年生に助けをもらいながら、ログインをしたり、パスワードを打ったりしていました。

「家庭学習力」を高めましょう…宿題をやる意味とは？…(1)

小学生になると始まるのが「宿題」です。小学生になったばかりのお子さんには「何でやらんといかんが？」と聞かれることもあるかもしれません。下記に、小学校から始まる宿題について、「宿題の目的」や「宿題を早く終わらせる方法」をご紹介します。

☆宿題とは？学校が出す目的について

宿題とは、学級担任がお子さんに学校の授業以外に家庭学習を行わせるために取り組ませる課題のことです。宿題を出す目的は2つあります。

- ① 自分から学習する習慣を身につけさせるため
- ② 面倒なことをがんばってやり遂げる力を育てるため

このような目的があるとはいえ、小学生のお子さんには大変なもの。とくに、学年が進むにつれて内容も難しくなり、宿題の量も増えてくるため、低学年のうちから自主的に取り組む姿勢を身につけることが大切です。では、自主的に家庭学習をする習慣はどのように身につければよいのでしょうか。

☆小学生のお子さんが宿題を自主的にする習慣を身につけるためには、保護者の方の協力が大切です。

小学生のお子さんが自らすすんで宿題に取り組んでくれるのが理想的ですが、なかなか自主的に取り組んでくれる習慣をつけるというのは難しいものです。そこで大切なのが、保護者の方のサポートです。保護者の皆さんの声かけ次第で、お子さんの宿題へのやる気も随分と変わるでしょう。

次に、保護者の方がどのような形でサポートをすればよいのか、ご紹介します。

☆明日の準備など、宿題につながる行動に取り組んでみるよう促す

やらなければならないことに手をつけるのは大人でも時間がかかるものです。まずは、できることから手を動かすよう促してあげましょう。例えば「今日学校でどんなことを習った?」「明日の準備は何が必要?」などと学校の話をしたり一緒に明日の準備を行ったりすることで、お子さんは自分から教材を開くよりもずっと宿題に取り組みやすくなるでしょう。

【以下、次号に続きます】

昨日、5月21日(日)は、小満(しょうまん)でした。

しだいに陽気が満ち、果樹の花が落ちて実を結ぶころ。バラやミカンの花が咲き、ビワの実が実ります。また、新緑の若葉は幼虫たちの大切なえさとなります。